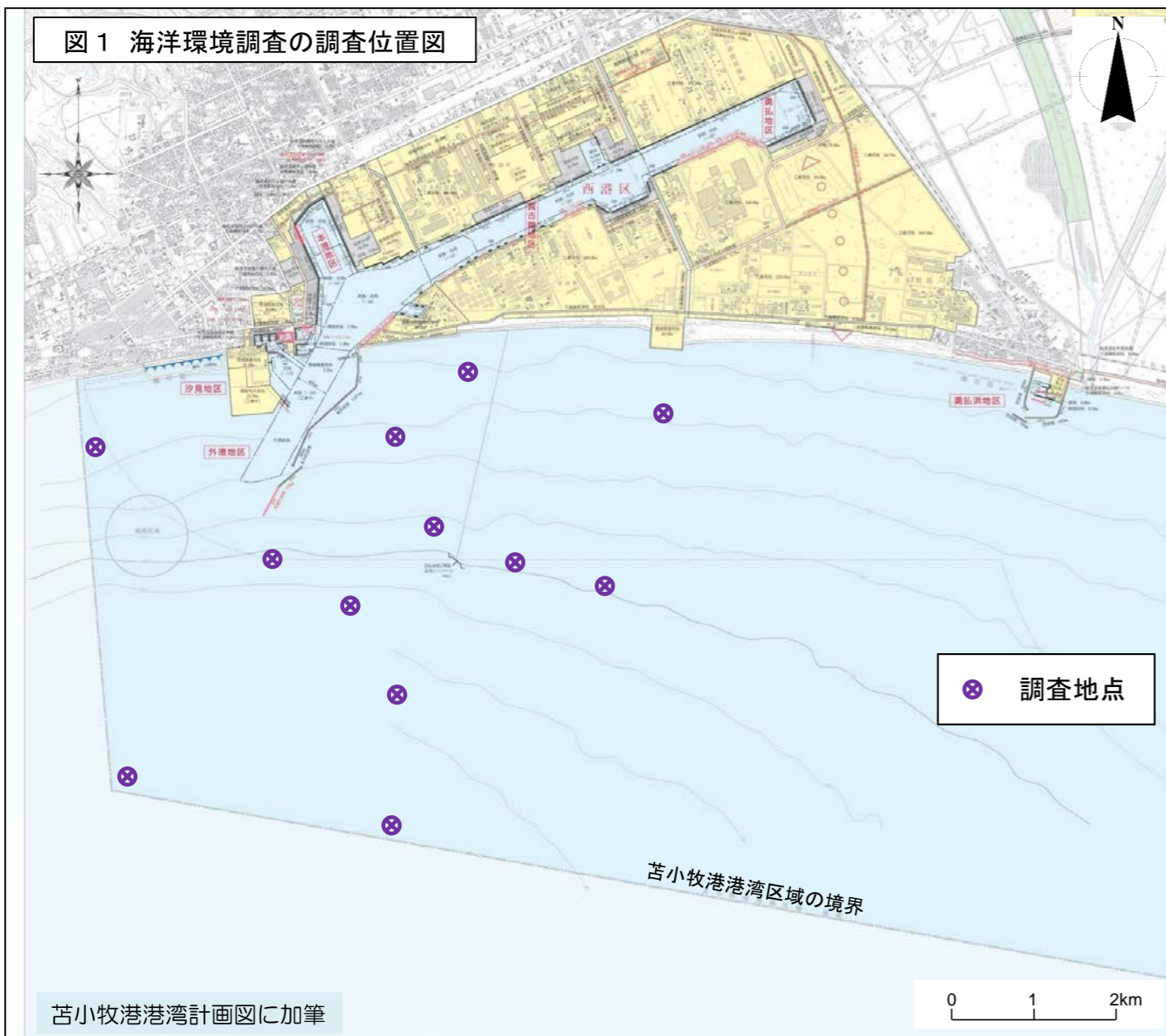


苫小牧地区におけるCCS大規模実証事業：海洋環境調査（冬季調査）の実施について（経済産業省委託事業）

1. 概要

苫小牧におけるCCS実証事業では、苫小牧港の港湾区域内においてCO₂貯留対象地点直上および周辺海域の現況を把握するための調査を昨年8月の夏季および11月の秋季に引き続き今年2月より冬季調査を実施します。

今回の冬季調査は、図1に示す12地点の直径100mの範囲で、海水や海洋生物の調査を実施します。海域の現況把握には年間のデータが必要であり、今後は、今年5月にも春季の調査を計画しております。



2. 調査方法

- ① 流向・流速計により、海水の流れの方向と速さを調査します。
- ② 採水器で海水を採水し、塩分濃度などを測定するとともに、プランクトンの状況を調査します。
- ③ スミス・マッキンタイヤ型採泥器で海底面表層を採泥し、粒度などを調査します。
- ④ 網で底生生物を採捕し、種類、数などを調査します。
- ⑤ ダイバーやROV（自走式水中カメラ）により底生生物を撮影します。
- ⑥ 調査は当社の監督のもと、(公財)海洋生物環境研究所が現場調査作業を実施する予定です。



調査船



採水器



プランクトンネット



スミス・マッキンタイヤ型採泥器



網



ROV

3. 冬季調査のスケジュール(予定)

作業項目	平成26(2014)年2月				3月	
	20日		27日		1日	5日
流向・流速、海水、プランクトン調査 ①②	■					
海底面表層調査 ③		■				
底生生物調査 ④⑤			■			
予備日					■	■

* 調査の作業時間は、原則として8:00~17:00の間で、夜間作業は行いません。

* 天候や海況によって、多少調査期間の変更があり得ます。